



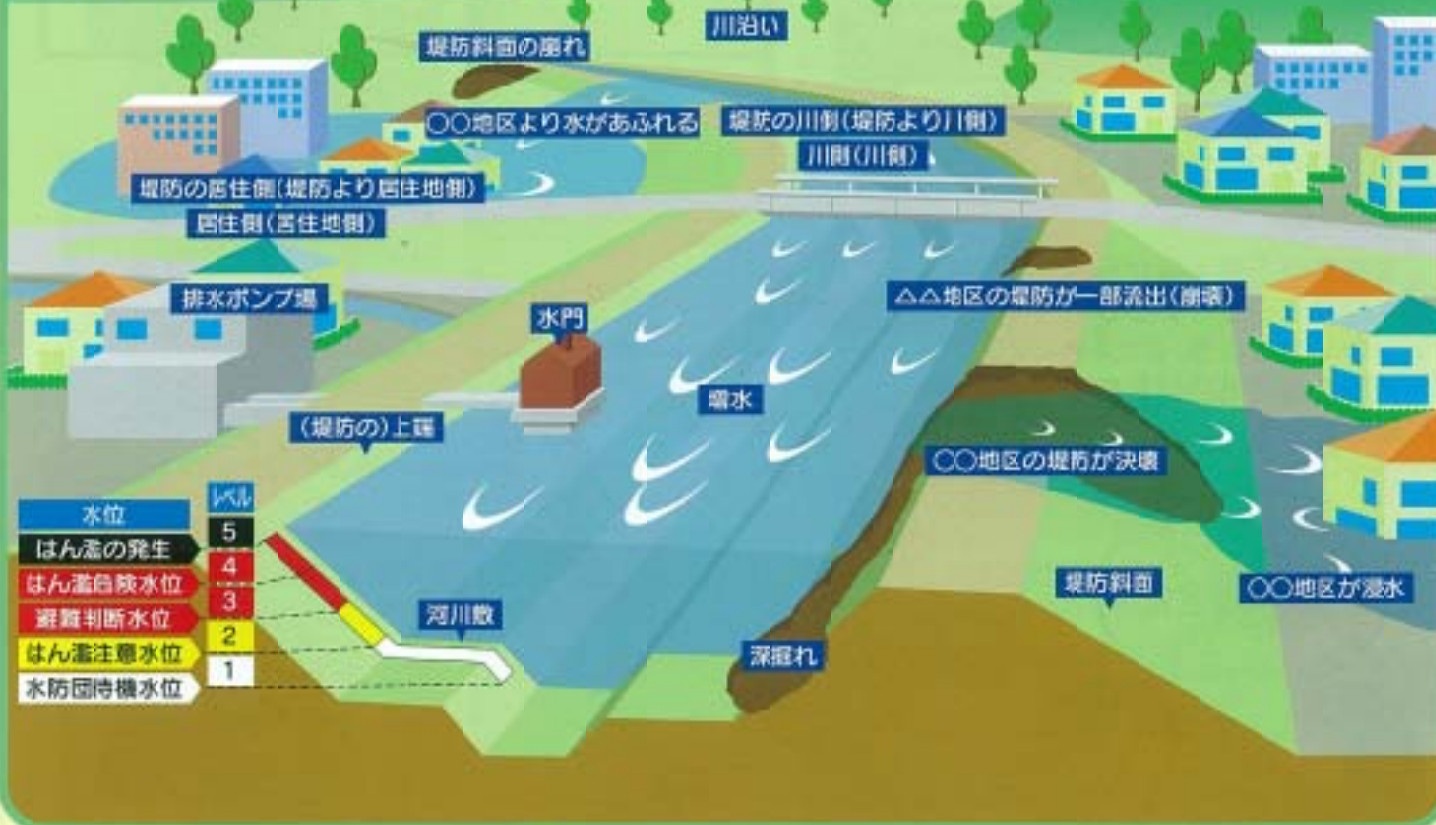
覚えて  
おこう!

## 洪水時に使われることば

情報を正しく理解することは、防災への第一歩です。  
災害時などによく使われる用語についてご紹介します。

河川の洪水予報で用いる用語

- 〇〇川はん濫発生情報
- 〇〇川はん濫危険情報
- 〇〇川はん濫警戒情報
- 〇〇川はん濫注意情報



水位	レベル
はん濫の発生	5
はん濫危険水位	4
避難判断水位	3
はん濫注意水位	2
水防団待機水位	1

### 自助とは

自らの安全は自らの力で  
自分の責任で、自分自身が行うこと。

### 共助とは

地域の方で助け合う  
自分の力だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。

### 公助とは

個人・地域の防災力の向上を支援  
個人や周囲、地域あるいは民間の方では解決できないことについて、公的機関が行うこと。



国土交通省  
九州地方整備局  
川内川河川事務所

〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号

ホームページアドレス <http://www.qsrmlit.go.jp/sendai/>

TEL 0996-22-3271 (代)

# 水害から身を守るために!!

自助

川内川水系  
水害に強い地域づくり

共助

公助



大口市曾木



湧水町中津川



鹿児島県



さつま町虎居



さつま町虎居



国土交通省  
九州地方整備局  
川内川河川事務所

# 水害から身を守るために

近年の洪水の多くは、集中豪雨や記録的な大雨により、これまでにない深刻な被害が多数発生し、その被害も年々大規模なものとなっています。

私たちの住む街もいつ大規模な水害に見舞われるかわかりません。このような事態から自らの命・家族・財産を守るため、刻々と発表される防災情報を正しく理解し、迅速な避難行動に結びつけ、危険から身を守るための基礎知識として活用して下さい。

博士、水害から身を守るためにはどうしたらいいの？



それじゃ、水害から身を守るために大切なことを教えよう！



## 水位に応じた危険度レベル？

## 身を守るための情報とは？

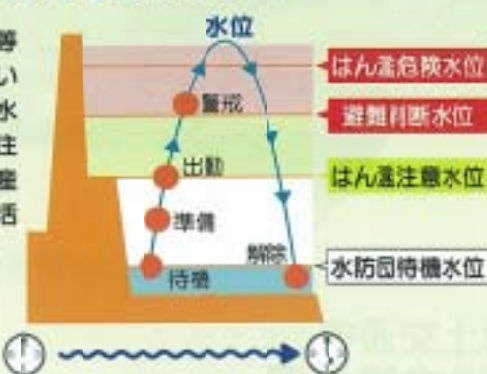
## 災害時の心構え

## 洪水時に使われることば

### 知っていますか？

#### 水防団～洪水から地域を守る～

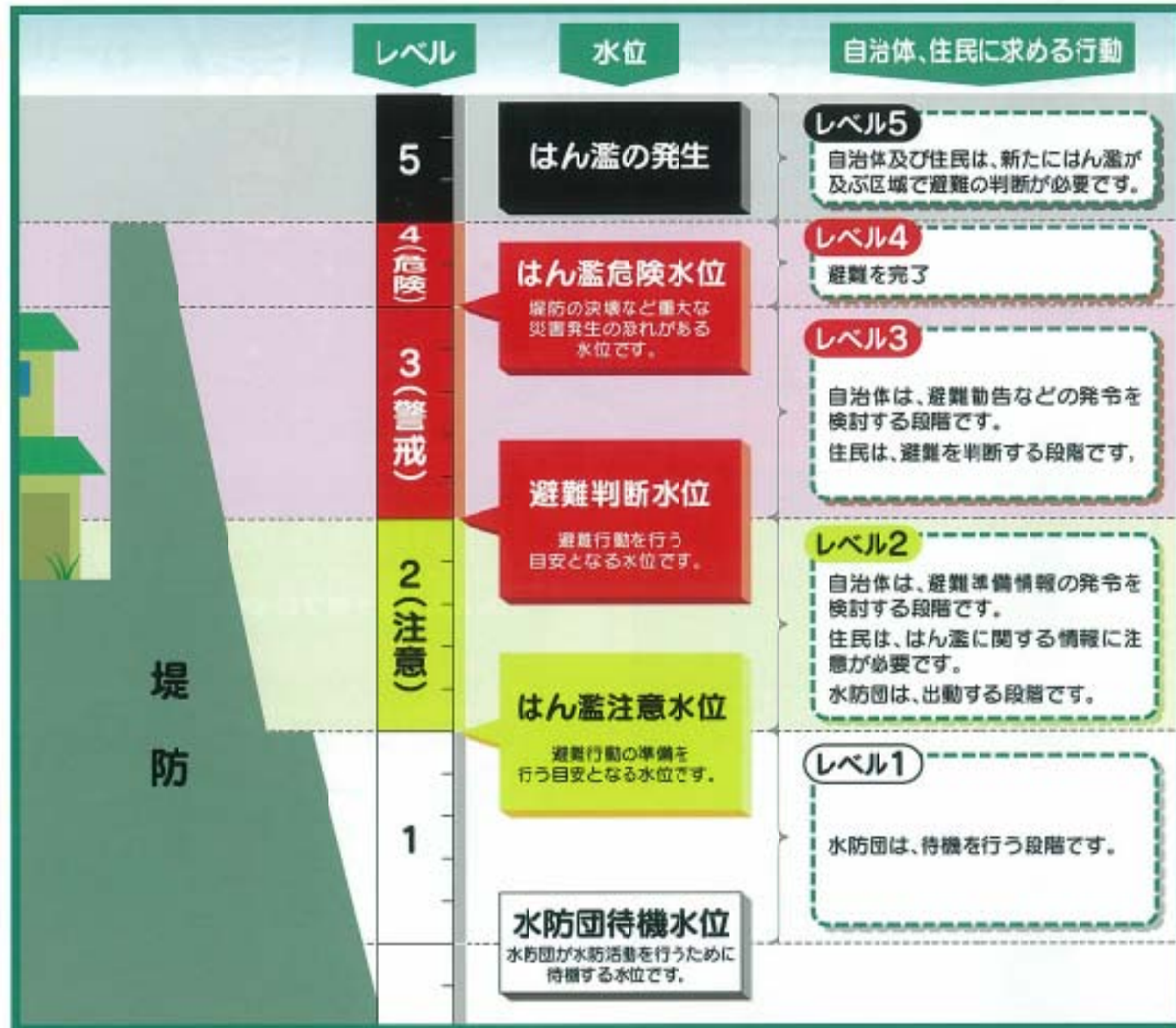
地域の有志等で構成されている水防団は、洪水などから地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。



知っておこう！

# 水位に応じた危険度レベル

川には、水位の高さに応じた危険度のレベルがあります。



### 色による分類

各水位は色によって区別され、はん濫の危険性の周知が徹底されるよう工夫されています。

レベル1・・・無着色  
レベル2・・・黄色  
レベル3及び4・・・赤色  
レベル5・・・黒色



川内川における水位一覧表

平成19年4月 現在

河川名	観測所	零点高 (m)	水位 (m)				計画高水位
			水防団待機	はん濫注意	避難判断	はん濫危険	
川内川・長江川	真幸	214.60	2.40	3.30	3.40	4.00	5.75
川内川	栗野橋	179.70	3.00	4.00	5.80	6.20	7.15
川内川	宮之城	19.00	3.10	4.60	5.80	6.60	8.74
川内川・隈之城川	川内	0.00	3.70	4.70	4.90	5.30	6.99
羽月川	花北	165.00	4.00	4.50	6.50	7.30	7.50



はん濫注意水位に達すると、  
川内川はん濫注意情報が  
発表されます。

心構えが  
肝心!!



わ~!!

こんな現象が水害信号です。  
日頃から、生活している地域の  
危険箇所を調べておきましょう。

### 河川上流・渓流



急に水かさが増し、小  
さな流木などが流れ  
てきます。

### 平地・ゆるやかな斜面



満の水が勢いよく  
流れ出します。

### 急斜面・崖



斜面に亀裂が入り、小さな  
石が落ちてきます。

## 川内川はん濫 注意情報発表 その時

国土交通省と気象庁は共同で  
「川内川はん濫注意情報」を  
発表いたしました。



今後の予想雨量  
18時~24時  
30mm/h以上

今後の予報を  
確認していたほうが  
良さそうですね...



え!?



## その時、どうすればいいの?



準備して  
持ち出さないと  
いけません

日頃から準備  
しておくことが  
大事なんだね



はん濫注意水位に  
達したぞ!!



はん濫危険水位

避難判断水位

はん濫注意水位

川内川  
はん濫注意情報  
発表

普段の水位

テレビやラジオ、パソコン、携帯電話で流れる情報をこまめに確認してください。深夜や停電時に備えて、携帯用のラジオを準備しておく便利です。

いつでも避難できるように、身支度や防災用品の準備をして、近くの河川情報も常に注意しておくことが重要です。

また、子どもやお年寄りなど、避難に時間を要する方は、早めの避難を心掛けましょう。

レベル  
3

# 川内川はん濫警戒情報

はん濫危険水位に達する  
恐れがある時または  
避難判断水位に達した時に  
川内川はん濫警戒情報が  
発表されます。



タスケテ〜!

逃げる  
準備を  
しなきゃ!



大雨が続くと、身のまわりでもいろいろ  
な被害が発生します。状況を把握し、安全  
な避難を考えましょう。

## 河川上流・溪流

川の流れが濁り、流木  
などが流れてきます。

## 平地・ゆるやかな斜面

あふれ出た水で冠水  
する恐れがあります。

## 急斜面・崖

水が吹き出し、土砂が  
崩れる恐れがあります。

## 川内川はん濫 注意情報発表 その時

国土交通省と気象庁は共同で  
「川内川はん濫警戒情報」を  
発表いたしました。



大変!  
避難の準備を  
始めなきゃ!!



ちょっとした判断ミスが  
被災の原因になるかも...

外出は控えたほうが  
良さそうね。



はん濫危険水位に  
達しそうだ!!



はん濫危険水位

避難判断水位

はん濫注意水位

川内川  
はん濫警戒情報  
発表

普段の水位

## その時、どうすればいいの?



お住まいの市町村から避難  
に関する情報が、広報車や有  
線放送、防災無線、サイレンな  
どで伝えられます。

もし、避難勧告などが出て  
いなくても災害の危険を感じ  
たら、自主的に避難すること  
が大切です。

### 市町村長が発令する避難情報

避難準備情報... 要援護者等、特に避難に時間を要する方に避難を促す情報です。

避難勧告... 一般の方に避難を促すために発令される勧告です。

避難指示... 人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された時に発令されます。



レベル  
4

# 川内川はん濫危険情報



## はん濫危険水位に達すると 川内川はん濫危険情報が発表されます。

はん濫危険水位に到達すると、堤防の決壊などによる大規模な被害が発生する恐れがあります。近くの避難所などへ避難しましょう。

逃げろ！  
逃げろ！



レベル  
5

# 川内川はん濫発生情報



## 河川のはん濫が発生した時は 川内川はん濫発生情報が発表されます。

堤防の決壊によるはん濫が発生した時は、大規模な浸水被害の恐れがあります。また、はん濫の状況により避難場所においても浸水の可能性があります。様々な情報に細心の注意を払いましょう。



### 水防情報の提供

「川の防災情報サイト」では全国のリアルタイムの①雨量の状況②河川の水位③ダム放流状況など、様々な情報を提供しています。

#### 閲覧できる情報

- 実況レーダ
- レーダ累加
- レーダ履歴
- 雨量
- 水位
- ダム諸量
- 河川予警報
- など

### 国土交通省〈川の防災情報サイト〉

インターネット情報サイト  
<http://www.river.go.jp>

※一部サービスは一部地域でのみ利用可能です。

携帯電話情報サイト  
<http://i.river.go.jp>

※QRコードは株式会社アンソーウェブの登録商標です。

### 安否情報が伝えにくい場合は…

大規模な災害発生時、被災地への電話がかりにくくなります。その場合は「災害用伝言ダイヤル」をご利用下さい。

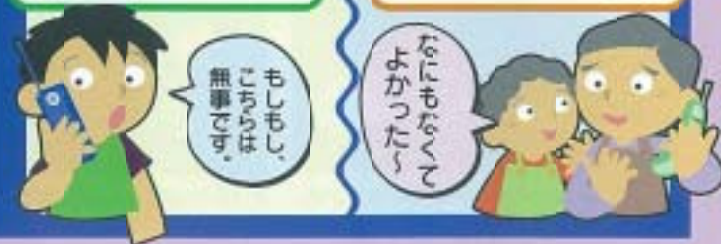
伝言を録音するには…  
まずは171を押して、次に1を押します。  
あとは自分の電話番号を入力して録音してください。  
※電話番号は必ず市外局番から入力してください。

伝言を聞くには…  
まずは171を押して、次に2を押します。  
あとは相手先の電話番号を入力して伝言をお聞きください。  
※電話番号は必ず市外局番から入力してください。

NTT災害用伝言ダイヤル

171

※171の受付時間は24時間です。



知っておこう! **災害時の心構え**

1 **知っておきたい思わぬ危険**

《河川・溪流など》

河川などの自然環境では、天候の変化がすぐにも事故につながる可能性があります。災害が予測される場所から早めに避難しましょう。



濁りなどは水の流れが早くなり危険です。河川上流では、水かさの変化が激しく、中洲に取り残される場合があります。急な崖の近くでは、水分を含んだ土砂が崩れる可能性があります。水かさの増した川の橋はとても危険です。

《オフィス街など》

都心部では地下施設などが多く、思わぬ被害が生じる危険があります。事前に予備知識を持ち、速やかに避難できるよう心掛けておきましょう。



地上が冠水すると、地下室へ一気に水が流れ込んできます。漏水すると電灯が消え、エレベーターは使えません。水正でドアは開かなくなります。換気口や採光窓など、思わぬところから水が流れ込んできます。

2 **洪水からの避難のポイント**

洪水災害の威力は計り知れませんが、避難時の注意点を事前に知ることで被害を最小限に抑えることが可能です。



運動靴が最適です。長靴は、浸水が深いと水が入り、歩きこくくなります。歩ける水の深さは膝の高さまでです。流れが早いと20cmの深さでも危険です。水の中は向があるのか分かりません。杖などを使って確認しながら進みましょう。お年寄りや子どもは、はぐれないよう、お互いをロープなどでつないで避難しましょう。

3 **災害から身を守るために、日頃からの準備を!**

定期的話し合ってみましょう。

日頃から水害ハザードマップで避難場所の確認など、水害時の準備をしておきましょう。

水害ハザードマップ

万が一の水害時に、地域の住民の方々が安全に避難できる事を主な目的として、想定浸水深・避難所の位置及び一覧、緊急連絡先、避難時の心得等が記載されています。



防災マップや水害ハザードマップは、市役所または役場へお問合せ下さい。

防災グッズの準備と定期点検

家族構成を考えながら必要な物がそろっているかチェックしましょう。また、使用期限のあるものは定期的に取り替えましょう。

